

様式第 2 号（第 9 条関係）

会議録

会議の名称		第 3 回ふじみ野市まち・ひと・しごと創生総合戦略 審議会				
開催日時		令和 2 年 2 月 7 日（金） 開会時刻 午後 4 時 0 0 分 閉会時刻 午後 5 時 0 0 分				
開催場所		市役所 本庁舎 3 階 A 3 0 2 会議室				
出席した者の氏名		役職名	氏名		役職名	氏名
		会長	中村 賢一		委員	登丸 あすか
		副会長	新井 良司		〃	西村 正博
		委員	飯野 哲義		〃	樋口 良晴
		〃	伊東 久		〃	星野 雅志
		〃	竹内 香			
会議の議題		(1) パブリック・コメントの募集結果について (2) 第 2 期ふじみ野市まち・ひと・しごと創生総 合戦略原案の修正について (3) 第 2 期ふじみ野市まち・ひと・しごと創生総 合戦略の答申（案）について (4) その他				
会議の公開又は非公開の別		公開				
傍聴人の数		0 人				
会議内容		別紙のとおり				
事務局		総合政策部 経営戦略室				
議事の確定	確定年月日	令和 2 年 2 月 1 7 日				
	記名押印	役職名 会長 中村 賢一 ㊟				

別紙

会議内容

1. 会長あいさつ

2. 議題

(1) パブリック・コメントの募集結果について（結果報告）

<主な意見等>

○パブリック・コメントの結果はホームページに出されるか。この結果について、本日の意見等により見直しの余地はあるのか。

⇒結果はホームページで公表する。この結果については、本部会議においてこの内容で報告させていただいているので、基本的には市の考え方として決定しているが、まだ公表している訳ではないので、意見があれば反映したい。（事務局）

○意見全体を見ると、行政に対する思い込みも見られるが、市民の方から見たらこういう思いを持っている人が少なからずいると思うので、公表することにより市民に見ていただくいい機会であることから、丁寧に説明した方がよい。

○一点目の合計特殊出生率1.67はありえないという件について、第2期計画の4ページはマクロ的に書かれており、算定を書かれていない。算定は、人口ビジョンの42ページから43ページに前提条件が書かれており、その結果1.8になっていると書かれている。その点を丁寧に説明する方が、他の方が見てもわかり易いのではないか。

・合計特殊出生率については、国がある程度方針を示している。実現不可能という直感を持つかも知れないが、地方創生は、それに向かって頑張らなさいという前提がある。ふじみ野市だけが夢の世界を描いている訳ではない。欄外に算定根拠がどこの何ページに書かれているか補足説明を記載したら良いのではないか。

⇒本計画の4ページに希望出生率というものが唐突に出てきているので、人口ビジョンの42ページから43ページに記載している希望出生率の説明を要約し、回答欄で補足するよう検討する。（事務局）

○二点目は「問題と課題の設定が必要」と書かれているので、ベッドタウンとしての問題と課題を分析した上で見直しをしている趣旨を記載した方がよい。

・岩手県には、町長がベッドタウンであることを徹底的に目指し、企業誘致をやらない自治体がある。その変わり、隣の盛岡市に勤める人を呼び込んでいる。ふじみ野市はそうではない。バランスの取れた成長を掲げ、企業誘致も商工業の発展も目指している。

⇒自主財源の確保や雇用の創出は持続させるために市のまちづくりに必要であり、問題や課題について整理しているので、そのことを加えさせていただく。（事務局）

○五点目の「優先順位を付け」の件について、すべてが重要であり不可欠と回答すると、計画の目的に沿った事業をリストアップして載せていると回答した方が良いのでは。

⇒市全体の取組としては最上位計画に基づいて実施しているが、本計画においては「市の地方創生において」とある程度絞った上で、この分野に関しては掲げている主な取組は全て重要という趣旨で回答を作っている。(事務局)

・市では、予算編成時に主要施策や重要施策など色分けしていないのか。

⇒3か年実施計画を作る段階で主要施策を位置付け、当初予算でもピックアップ事業として整理している。(事務局)

・市全体の計画としては、最上位計画の中で重点プロジェクトとして優先順位を付けて実施している。「この戦略においては」と続けると回答としてわかり易いのではないか。

(2) 第2期ふじみ野市まち・ひと・しごと創生総合戦略原案の修正について(概要説明)

<主な意見等>

○国への交付金の申請は、もう行っているのか。

⇒既に申請は済ませており、現在審査中である。申請に当たり総合戦略での詳細な裏付けが必要であることから、本日文化施設の整備について追加した案を提示させていただいた。(事務局)

○歴史的な背景があって東西に文化施設が必要なのか。普通に考えると1つで良いのではないかと思うが。

⇒西地域文化施設については800席程度、東地域文化施設については300席程度と違う用途で活用できる施設を整備することになる。一つにまとめるという考えもあるが、市民ニーズに合わせるためにも、少し小さめで使い勝手が良いホールと、集客が期待できる大きめのホールを整備する。(事務局)

・普通に考えれば一つに集約することが一般的である。理想を言えば市の真ん中辺りに一つの施設があれば良いが、本市の中央は旧市町でも非常に良い場所で地価も高く、用地費もかかり一つに集約することが難しかった。では、どちらかに施設を整備するかとなった場合、まだ旧市町への配慮も必要であったことから、東地域はまだ使えることから改修、西地域は耐震補強や他の設備関係のこともあり建替えとなった。

・合併した市であるから、どちらの地域にも偏らない配慮が必要な面があると思う。東西にうまく機能を分けてまとめたと思う。

○このような話をすると、財政的な視点で経費削減の話が出るが、コストはかかる一方、地域性、住民の理解、歴史的背景を考えると、合理性だけでは判断できないことがある。そういった議論を踏まえ、ふじみ野市としては、このような文化施設が両方に必要であることを理解しないといけない。

○議会にもよく説明したと考える。議会も財政的な面や機能が偏っていないかなど議論したと思う。国の交付金はもらえるかわからないが、交付金がなくても、うちは建てますという気持ちがないと採択されない。そう言った意味で、ふじみ野市は良く動いている。

○本市は、数年前に地方創生加速化交付金を使って、どのような施設が必要なのか調査を行ってきている。住民から見ると急に出てきた話に見えるが、行政は水面下でこのような準備を緻密に行っている。

○追加の案の表現は問題ない。

(3) 第2期ふじみ野市まち・ひと・しごと創生総合戦略の答申（案）について
（協議）

(4) その他
事務局（連絡事項説明）

3. 閉会